

# 調査の概要

## 1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 2 調査の対象学年

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
 中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

## 3 調査の内容

- ①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
  - ・主として「知識」に関する問題〔国語A、算数・数学A、理科〕
  - ・主として「活用」に関する問題〔国語B、算数・数学B、理科〕
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・児童生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

## 4 調査の方式

抽出調査及び希望利用方式（抽出調査の抽出率は約30%）

## 5 調査期日

平成24年4月17日（火）

## 6 平成24年4月17日（火）に調査を実施した学校・児童生徒数

【抽出調査対象校】北海道（公立）

	対象学校数(校)	学校数(校)(抽出率)	児童生徒数(人)
小学校	1,146	224(19.5%)	8,561
中学校	643	235(36.5%)	16,100
合計	1,789	459(25.7%)	24,661

【希望利用方式参加校】北海道（公立）

	対象学校数(校)	学校数(校)(希望利用率)	児童生徒数(人)
小学校	922	759(82.3%)	23,233
中学校	408	341(83.6%)	18,001
合計	1,330	1,100(82.7%)	42,234

※小学校には特別支援学校小学部を、中学校には特別支援学校中学部を含む。  
 ※抽出調査には札幌市を含む。

※上記の希望利用調査には、札幌市の公立学校の参加がない。  
 ※インフルエンザのため小4校、中1校が後日実施となった。

## 【用語説明】

語句	説明
平均正答率	平均正答数を百分率で表示。 ○国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）。 ○学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率。
平均正答率の95%信頼区間	95%の確率で、全員を対象とした調査（悉皆調査）の場合の平均正答率が含まれる範囲。
中央値	集団のデータを大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。 平均値とともに集団における代表値としてとらえられる。
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値がすべて同じ）ことを意味する。分布が正規分布になっていると仮定すると、「平均±標準偏差」の間に全体の約70%のデータが含まれる。

## 【調査結果の解釈等に関する留意事項】

- 本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。
- 国が行った本調査は抽出調査であり、各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となるように標本抽出が行われているため、本報告書で掲載しているデータにおいて、推計値である集計値については、全国（公立）の教科に関する調査及び児童生徒に対する質問紙調査については誤差±0.2%程度、学校質問紙調査については誤差±1%程度並びに「北海道（抽出）」「秋田（公立）」の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となっていることに留意する必要がある。なお、今回掲載した「北海道（合算）」の結果は、全道の抽出対象の学校（札幌市含む）及び希望利用した学校（札幌市の参加はなし）の結果を独自に合算したものであり、合算結果については、上記の誤差は生じていない。
- 本調査の結果においては、平均正答数、平均正答率等の数値を示しているが、これらの数値のみでは必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、平均正答率の95%信頼区間、中央値、標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析・評価する必要がある。また、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

# 執筆者・協力者一覧

(職名は平成24年11月末現在)

## 【本庁】

武藤久	慶	北海道教育庁学校教育局義務教育課長
鈴木淳	淳	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ主幹
石原学	学	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ主査
熊谷誠	誠	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ指導主事
渥美伸彦	伸彦	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ指導主事
菅原巧	巧	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ指導主事
松橋朗	朗	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ主査
西尾朋恵	朋恵	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ主任
佐々木育美	育美	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ主任
田海新吾	新吾	北海道教育庁学校教育局義務教育課学力向上推進グループ主任
竹林亨	亨	北海道教育庁学校教育局義務教育課義務教育指導グループ主幹
川端香代子	香代子	北海道教育庁学校教育局義務教育課義務教育指導グループ主査
伊藤伸一	伸一	北海道教育庁学校教育局義務教育課義務教育指導グループ主査
堀田裕之	裕之	北海道教育庁学校教育局義務教育課義務教育指導グループ指導主事
泉大吾	大吾	北海道教育庁学校教育局義務教育課義務教育指導グループ指導主事
瀧澤義守	義守	北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課社会教育・読書推進グループ主査

## 【教育局】

長谷川道彦	道彦	空知教育局教育支援課義務教育指導班主査
木村理希	理希	空知教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
三浦利章	利章	石狩教育局教育支援課義務教育指導班主査
田中孝二	孝二	石狩教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
青木順一	順一	後志教育局教育支援課義務教育指導班主査
丹那暢仁	暢仁	後志教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
針ヶ谷一義	一義	胆振教育局教育支援課義務教育指導班主査
松尾康	康	胆振教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
輕部恭子	恭子	日高教育局教育支援課義務教育指導班主査
小田浩平	浩平	日高教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
田中賢一	賢一	渡島教育局教育支援課義務教育指導班主査
細川真喜	真喜	渡島教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
佐藤育子	育子	檜山教育局教育支援課義務教育指導班主査
猪子政文	政文	檜山教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
新居雅人	雅人	上川教育局教育支援課義務教育指導班主査
成田仁	仁	上川教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
行徳義朗	義朗	留萌教育局教育支援課義務教育指導班主査
吉村公孝	公孝	留萌教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
池田和人	和人	宗谷教育局教育支援課義務教育指導班主査
千代隆志	隆志	宗谷教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
塩田直之	直之	オホーツク教育局教育支援課義務教育指導班主査
畠山治夫	治夫	オホーツク教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
石川一美	一美	十勝教育局教育支援課義務教育指導班主査
森島克久	克久	十勝教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
西川忠克	忠克	釧路教育局教育支援課義務教育指導班主査
二階美幸	美幸	釧路教育局教育支援課義務教育指導班指導主事
高橋知毅	知毅	根室教育局教育支援課義務教育指導班主査
三浦浩平	浩平	根室教育局教育支援課義務教育指導班指導主事

## 【道立教育研究所】

永澤篤	篤	北海道立教育研究所企画・研修部研究主幹
高杉直人	直人	北海道立教育研究所企画・研修部主査
荒木英弥	英弥	北海道立教育研究所企画・研修部研究研修主事
木野下尚大	尚大	北海道立教育研究所企画・研修部研究研修主事
馬場泰栄	泰栄	北海道立教育研究所附属情報処理教育センター研究研修主事
中島健朗	健朗	北海道立教育研究所附属情報処理教育センター研究研修主事